

いなづま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集 総務部
 住所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 島山印刷



北電森地熱発電所（森町濁川）

臨時供給仮設工事 の取扱について

臨時供給仮設工事については、永年にわたってそれの事業所が、主として直営又は一部を外線工事業者に委託して施工してきました。

しかし、近年は配電線の補修・系統整備が完備されたのに加えて、市街地の交通事情の過密化などの客観情勢からみて、極めて高等の技術熟練度と絶対なる安全作業が要求されるようになり、特に安全作業の見地からみますと、内線工事業者においては外線工事有資格者の漸減と、高年合理化と作業頻度が少ないことによる外線工事熟練度の低下等現状からみて安全面からも少なからず問題があると考えざるを得ないのであります。

すでに本年度の通常総代会あるいはその後の各支部会議等でも周知してきましたが、北電函館営業所、北海道電設工事㈱、北海電気工事㈱と当組合の技術・教育委員会ならびに北工連絡会議を通じて種々協議を重ねた結果、本年十月一日以降別紙施工範囲のとおり、北電拠点営業所管内で統一した運用することに決定いたしました。

つきましては、支部会議で配付しました資料および次の事項を参考にして、取扱いについて遺漏のないようご協力の程お願いいたします。

記

- 一、臨時供給仮設工事委託業者
 - (一) 北海電気工事㈱函館支店（窓口担当者竹原氏）
 - (二) 北海道電設工事㈱函館支社（窓口担当者谷口氏）
- 二、外線工事会社に見積を依頼する際は、組合員側で

簡略な図面を作成し、出来る限り委託先外線工事会
社に持参のうえ両者で打合せをする。こと。
なお、割込柱施工の場合は、組合員側で道路管理
者に対して事前に道路使用許可を得ることが必要で
す。

三、「北電施設借用願」は組合員側で作成のうえ、借
用者（需要家）、外線工事会社責任者の認印を貰う
こと。

四、「点検諸測定報告」は、ケースバイケースにおい
て両者協議のうえ作成します。

(例) 変台の場合は外線側、キュービクル等の場合
は内線側)

五、工事費の支払については、事前に両者協議のうえ
決定すること。

【別紙】

臨時供給仮設工事の

施工範囲について

北海道電力株式会社
函館 営業 所

一、施工範囲

臨時供給仮設工事に伴う施工範囲は下記のとお
りとする。

施工区分	業者別	
	内線業者	※二 外線業者
仮設工事	北電柱 ※一 ×	○
	その他 ○	○
高圧引込線工事	×	○
低圧引込線工事	○	○
高圧活線作業	×	○
高低圧線・機器等の防護	×	○

※一 低圧引込線工事は除く。
※二 外線業者は左記の二社とする。
北海道電気工事株式会社
北海道電設工事株式会社

二、北電設備の借用範囲

高圧引込線以外の需要家設備は、原則として
北電設備に仮設は認めない。
ただし、外線工事要領等の規程に抵触せず、北
電設備に仮設しても保守管理上に支障がない場合
は、この限りでない。

役員会だより

第一回役員会

五九・四・二〇

一、慶弔報告

なし

二、貸付報告

七社 二六〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部とも支部長・総代を選出した。

四、総務委員会事項

(一)、定期健康診断・献血の実施報告

受診者 一四五名(三五事業場)

献血者 七三名

結果 (イ)要精密検査(胸部) 一名

(ロ)要再検査(尿、糖、血圧) 一六名

(二)、総代会について

日時、場所、議題について審議

(三)、昭和五八年度収支決算について

(四)、剰余金の処分案について

(五)、昭和五九年度事業計画案並びに収支予算案につ

いて

(六)、組合の加入・脱退・除名について

(七)、年末融資及び一般貸付の事故報告

五、技術・教育委員会事項

(一)、主任電気工事士研修会の報告(詳細前号掲載)

(二)、電気工業法による「みなし電気工事業者」の
届出について(詳細前号掲載)

(三)、電気工業法による立入検査の実施結果報告
(詳細前号掲載)

四、仮設工事について

指定資材の購入について

(四)、低圧電気使用申込書の一部変更について

(五)、事業委員会事項

(一)、全日電工連第三者損害賠償制度について

(二)、全日電工連第三者損害賠償制度加入費について

(三)、全日電工連政治連盟の会費について

(四)、全日電工連第三者損害賠償制度加入費について

(五)、全日電工連政治連盟の会費について

(六)、事業委員会事項

(一)、全日電工連第三者損害賠償制度について

(二)、全日電工連第三者損害賠償制度加入費について

(三)、全日電工連政治連盟の会費について

(四)、全日電工連第三者損害賠償制度について

(五)、全日電工連第三者損害賠償制度加入費について

(六)、事業委員会事項

二、貸付報告

六社 二四〇万円

三、各支部報告並提案事項

八雲支部―組合および北電合同でソフトボール大会
を開催した。

四、総務委員会事項

(一)、会計期末監査報告

(二)、年末融資および一般貸付の事故報告

(三)、所屬支部の変更について
(南丸石電気商会 中渡島支部―中支部に移行

四、総代会について

(四)、譲受・譲渡による加入について

(イ)南館脇電気工事―館脇電気工業(株)

(ロ)古海電気商会―南古海電気商会 (承認)

(六)、事務局職員の給与改訂、夏期手当について

- (ハ) 駐車場の賃貸について
- 五、技術・教育委員会事項
 - (一)、電気工事士試験(学科)のための特別訓練について

- (二)、電気出火事故について
- (三)、北電引込線資材讓渡単価の改訂について
- 四、北電の電気申込書用紙の改訂について
- (五)、仮設工事について
- (六)、北電函館営業所の組合員訪問について

- (七)、事業内職業訓練校について
- 六、事業委員会事項
 - (一)、全日電工連第三者損害賠償制度の加入について
 - (二)、全日電工連第三者損害賠償制度の加入等各資料の配布

- (三)、全日電工連グループ共済制度について
- 四、共同保守管理業務の実績について
- (五)、全国電気使用安全月間について

第三回役員会 五九・六・一一

- 一、慶弔報告
- 二、貸付報告

- 三、総代会の報告(詳細前号掲載)
- 四、各支部報告並提案事項

五、総務委員会事項

- (一)、全日電工連発行「必守電気安全作業」について
- 全組合員に無料で配付する

- (二)、一般貸付の事故報告
- (三)、道工業組合より旅費補助金の報告
- 四、役員を担当業務および組織について(詳細前号掲載)

- (六)、脱退者持分未払金の支払について
- (七)、商号変更および承継加入について

(イ) 兼松吉商店(兼松(承認))

- (ロ)、中島電機(兼シマデン産業(承認))
- (ハ)、金融事業について
- (九)、組合所有の車輛について

- 六、技術・教育委員会事項
 - (一)、仮設工事について
- 七、事業委員会事項
 - (一)、全日電工連グループ共済制度の還付金の報告
 - (二)、全国電気使用安全月間について

第四回役員会 五九・七・二六

- 一、慶弔報告
 - (一)、北海道電設工事(函館支社代表者怪我入院見舞)
- 二、貸付報告
 - 九社 三二〇万円

三、各支部報告並提案事項

- 西 支 部 事業所訪問を実施した。
- 東 支 部 (一) 事業所訪問を実施した。
- (二) 一般貸付について分割返済の方法が講じられないか。

八雲支部 八雲町に消防設備協会を設立したいと云う意向がある。

(北檜山ブロック) Ⅱボランテニアについては、冬期間に実施する。

中渡島支部 事業所訪問を実施した。

中 支 部 屋側門外灯の漏電ブリーカ取付について説明した。

赤川支部 商店・飲食店の自動ドア・シャッターの負荷側の工事が、専門業者によって施工されるが漏電が非常に多い。

四、総務委員会事項

- (一)、年末融資、一般貸付の報告について
- (二)、電気安全表彰について
- (三)、組合所有車輛の売却処分について

- 四、未収入金、売掛金の早急納入について
- (五)、臨時休業について

- (六)、電線等資材の保管について

五、技術・教育委員会事項

- (一)、電気工事士試験のための特別訓練の実施結果
- (二)、自己調達資材の拡大について
- (三)、控除項目の拡大について
- 四、北電工量単価の改訂について(詳細前号掲載)

六、事業委員会事項

- (一)、共済制度等実績報告
- (二)、全日電工連グループ共済制度および安田企業年金の配当金について
- (三)、電気使用安全月間の補助金について

- 道工業組合より六六、〇〇〇円の補助があった。
- 四、全国電気使用安全月間の行事について(詳細別掲)

組 合 行 事

5月4日 全日電工連互助会に大倉理事長出席

7日 小規模企業振興委員協議会に坂本事務局長出席(於湯の川入川)

8日 年末特別金融説明会

9日 東支部懇談会(於九条)

10日 北電関連工事函館営業所安全衛生協議会に坂本事務局長出席(於北電)

全日 八雲支部北工連絡会

14日 仮設工事打合会議

15日 函館営業所地区北工連絡会議に吉田副理事長ほか委員一五名出席

17日 技術・教育委員会

18日 中渡島支部会議

19日 八雲支部ソフトボール大会

21日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札幌協)

23日 西支部会議

24日 八雲支部森ブロック会議兼観桜会

25日 東支部会議

- 28日 全日電工連総会に大倉理事長出席
- 全日 八雲支部北檜山ブロック会議兼観桜会
- 29日 第2回役員会
- 全日 第36回通常総代会
- 6月9日 北支部会議
- 12日 第3回役員会
- 全日 三役会議
- 1513日 電氣工事士試験(学科)のための特別訓練
- 15日 電波障害防止協議会定期総会に坂本事務局長出席(於タワービル)
- 全日 東支部会議
- 19日 中央会事務長会研修会に坂本事務局長出席(於函館商工会議所別館)
- 22日 中渡島支部会議
- 全日 西支部会議
- 25日 新加入組合員業務研修会
- 26日 小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席
- 27日 中支部会議
- 全日 赤川支部会議
- 全日 技術・教育委員会
- 28日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
- 7月2日 全日電工連互助会に大倉理事長出席
- 4日 福島支部会議・安全大会
- 5日 中渡島支部会議
- 6日 八雲支部北檜山ブロック会議
- 9日 小規模企業振興委員協議会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)
- 全日 建災防協会役員会・総会に佐々木(三)理事出席(於建設会館)
- 10日 北電関連工事安全衛生推進大会に細川副理事長、佐々木(三)理事出席(於北電)

- 12日 中渡島支部事業所訪問
- 全日 八雲支部安全大会
- 2018日 電氣工事士試験(実技)のための特別訓練
- 18日 西支部事業所訪問
- 2018日 東支部事業所訪問
- 19日 小規模企業振興委員協議会に坂本事務局長出席
- 24日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
- 25日 八雲支部森ブロック会議・北工連絡会
- 26日 第4回役員会
- 27日 中央会勉強会に坂本事務局長出席(於大同生命ビル)
- 8月8日 道工業組合会計中間監査に吉田副理事長出席
- 9日 北支部会議
- 全日 北支部事業所訪問
- 13日 総務委員会
- 全日 いなづま編集会議
- 15日 八雲支部北檜山ブロック会議
- 1817日 全道事務局長会議に坂本事務局長出席(於美唄)
- 17日 東支部会議
- 21日 西支部会議
- 全日 東支部ボランティア実施
- 23日 建設雇用改善推進会議に大倉理事長出席(於建設会館)
- 全日 福島支部ボランティア実施
- 25日 江差支部会議
- 全日 北支部ボランティア実施
- 全日 中支部ボランティア実施
- 28日 昭和59年度電氣工事安全大会(於ホテルアカシヤ)

- 29日 北電函館営業所管内北工連絡会議に大倉理事長ほか役員一四名出席(於北電)
- 30日 雇用保険法改正説明会に坂本事務局長出席(於市民会館)
- 9月8日 函館市町連外灯部長会議に坂本事務局長出席(於北電)
- 11日 道厚生年金基金役員会・代議員会に大倉理事長出席(於札幌市)
- 13日 第5回役員会
- 14日 東支部会議
- 18日 赤川支部会議
- 19日 道工業組合対北電技術委員会打合会議に吉田副理事長出席(於北電本店)
- 21日 西支部会議
- 全日 中渡島支部会議
- 2422日 事務局職員慰安旅行
- 25日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札幌電協)
- 26日 安田生命企業年金懇談会に大倉理事長出席(於国際ホテル)
- 27日 小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席(於函館商工会議所)
- 28日 仮設臨時工事打合会議に大倉理事長ほか役員四名出席(於組合会議室)



全国電気使用安全月間

昭和五九年度の全国電気使用安全月間が、通産省の主唱により八月一日から三十一日までの一ヶ月間にわたって実施されました。

電気工事安全 大会の開催

例年七月に開催している電気工事安全大会について本年度は労働災害・電気事故・交通事故等電気工事業におけるあらゆる災害の撲滅を期することを目的として、電気使用安全月間の行事として開催しました。

- 一、大会の名称
昭和五九年度電気工事安全大会
- 二、趣旨
労働災害・電気事故・交通事故等電気工事業におけるあらゆる災害の撲滅を期する。
- 三、主催
函館地方電気工事協同組合
- 四、共催
函館電設業会
- 五、日時
昭和五九年八月二十八日 一三時三〇分～一六時
- 六、場所
函館ホテルアカシヤ

大会は、殉職者に対する黙とうをささげたあと、大倉理事長があいさつに立ち「近年、電気は多様化しており、いろいろなケースでの事故が発生しています。ちょっとした不注意が会社に致命的な影響を与えます。



今後も皆さんの職場での万全な安全対策を期待いたします」と述べました。

次いで来賓として出席した函館労働基準監督署の千葉弘保署長が、電気工事業における災害の事例等を交えた祝辞を述べ、北電からは函館営業所片山敏勝所長（代理）が祝辞を述べました。

このあと「全日電工連第三者損害賠償制度」の調査委員である西岡理事が電気事故事例の分析と題して、実例に基づいてわかり易く講演、引き続き「危険予知訓練の実際」「若いドライバー無謀の記録」の安全フィルムを映写、最後に安全担当佐々木理事が力強い安全宣言を行い、午後四時過ぎ閉会しました。

各支部ボランティア 活動の実施

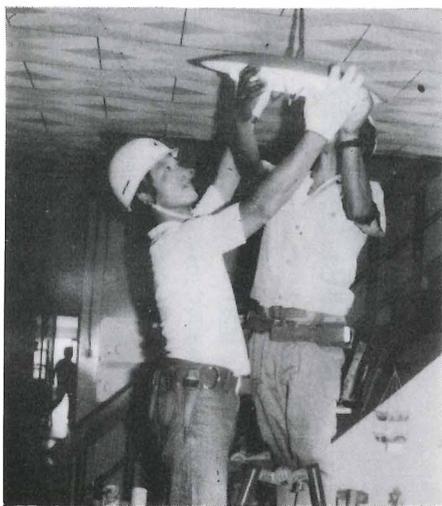
本年度も、各支部単位で地域の福祉施設に対して、ボランティアを実施することになりました。

東支部は「うみの星学園」北支部は「亀田保育園」中支部は「宮前児童館」福島支部は松前町の独居老人家庭、江差支部は上ノ国町の四保育所、八雲支部は六保育所を担当し、配線、器具の清掃、点検あるいは福祉ベルの点検等約二〇施設に対してボランティアを実施いたしました。

地域の町長はじめ施設から数多くの礼状が寄せられ電気使用の安全に関する啓蒙と地域社会に対する役割に大きく貢献したのであります。

ボランティアに参加された組合員の皆様に厚くお礼申しあげます。

尚、支部によっては冬期間の閑散期に実施するところもあるようですが、ご協力の程お願いいたします。



電気保安功労者 通産大臣表彰受賞



(電気工事業者営業所)
日本電機保全㈱
細川 政明 氏

通産省主催の電気使用安全月間が八月一日より一ヶ月間全国一斉に展開され、これに因んで通産省が八月七日、電気保安功労者の通産大臣表彰式が東京・半蔵門の東条会館で行なわれ、日本電機保全㈱が晴れの榮譽に輝いた。

今年度、全日電工連関係から個人で十二名のうち七名が、営業所七件のうち六件が表彰されたのでありますが、当社は電気安全について永年に亘り保守保安の運営並びに教育が充分行なわれているほか当組合副理事長の職にあつて組合員の指導にあたつており、又地域社会に対する貢献等の功績が認められたもので、当社はもとより当組合としても慶しいことであり、衷心よりお祝いを申し上げます。



電設付帯引込線工事 機械処理状況について

昭和五八年一〇月一日から電設付帯引込線工事が機械処理されるようになって一年を経過しましたが、この度北海道電力㈱より機械処理状況について資料が届けました。

五八年一〇月から五九年三月に処理されたものうち、エラー処理となったものを全道営業所別にみてみますと函館営業所(当組合)は一・二%と残念ながら最下位になっています。ちなみに第一位は北見支社で六・二%と、函館営業所(当組合)の約1/2のエラー率です。

五九年四月から五九年五月の累計でみますと函館営業所(当組合)は八・二%となり最下位を脱出して第一〇位となりましたが、第一位は小樽支社の四・二%とここでも約2倍のエラーが生じて居ります。

五九年四月から五九年八月の累計では、函館営業所(当組合)は五%で第五位となり第一位の名寄営業所三・二%との差は大分縮まってきました。

次に函館営業所管内エラー率状況を五九年四月から五九年七月までの累計でみますと函館直轄四・七%、北檜山九・六%、八雲七・六%、森一・七%、江差一四・一%福島九・四%になって居ります。

当組合関係における五九年八月分のエラーの原因別をみますとカードNo.1(筆頭カード)エラーで、一一九枚中二八件と一番多く引込設計書No.の重複または同一工事場所カードを2枚以上提出する場合にカードNo.欄にマークがない等で初歩的な事項のミスが多くなっています。

次に多いのは、工事場所登録なしで工事場所コードが数字以外、カードの工事場所欄にマークがない場合、地域特性諸元ファイルに登録外の工事場所コードが記

入されているというのが一一九枚中二二件であります。また点滅器組合せ誤りというのも原因は、各種区分コードと点滅器個数コードとの組合せが違っている、(点滅器が出るのは外灯と取替のみで他の所にマークしている)等です。

以上のように上位三項目についてのみ例記して見ましたが、この他にもエラー項目は色々あります。いづれにしてもエラー処理になると工事金の入金が少なくとも一ヶ月は遅れることとなりますので、マークカードを提出する際には充分注意のうえ特に例記の三項目については特に念入りに確認して提出するように協力の程お願い致します。

組合員の異動

|| 住所、住居表示の変更 ||

(新) (旧)

- 一、(南丸和電気工業所) 函館市深堀町一三〇 函館市松陰町二五一一二
 - 一、(南沢田電工舎) 函館市東山町一丁目 函館市東山町八九一一八
- 二四一一

組合員消息

一、九月上旬 イナミ電気工業代表者病氣入院見舞

- 一、八月二三日 榊川村電気商会代表者川村長四郎殿ご母堂ご逝去
- 一、九月九日 第一電気工業㈱代表者駒井亀太郎殿ご母堂ご逝去
- 一、九月二三日 山崎電気商会(㈱従業員)ご逝去

サハリン日記

又祖の地を踏む その一

平沼智子

はじめに

よく人から「樺電」とはどういう意味で「社名」としたのかと質問される。又旅行などで「樺電工業」と言っても全然ピンと来ない。致し方なく「白樺の樺に電気の本」と言くと、「ああ、北海道には白樺の木が沢山ありますものね」等と言って、わざ／＼と丁寧な「白樺電気様」などと書いた領収書を持って来る。

「樺電」と言う名称の起りは、戦前樺太がまだ日本の領土であった時、現在の北海道電力(株)のように「樺太配電株式会社」と言う、電気を供給する会社があった。終戦後、かつての樺太配電の人達が集まり、電気工業を目的とする「樺電興業株式会社」を札幌に創立した。その時、今は他国となった樺太敷香町に於て樺太配電敷香営業所の工務主任をしていた当社の初代社長が、新しく創立した「樺電興業(株)函館営業所」の所長としてこの地に根を下ろした。しかし、三年にしていろいろな問題が起き、「樺電興業(株)」は解散の止むなきに至り、電気工業をつげようとする者はそれぞれに独立した。勿論当社もその時に「樺電工業株式会社」として、改めて呱呱の声をあげて独立した。以上が当社の「社名」の由来である。この時が当社の創立で、昭和二十六年三月一日である。爾来三十有余年、皆様の御力添えで今日に及んでいる。

昨年の第十五次樺太募参団の一行は出発間際に大韓航空機の事件が起き、危惧を持ちつつテレビ報道のさ中を新潟に向った。しかし、新潟からソ連領への入国許可が下りず、三日間の待機も空しく、樺太に思いを

はせながら戻った。今年の第十六次募参団は昨年の参加者が最優先で選考され、総員十五名中九名が無条件で決定し、残り六名が新しく選考された。私は運よくその六名の中に選考されて、第十六次樺太募参団の一員として、七月二十三日より八月一日迄の十日間、父祖の眠る地「樺太(ソ連名サハリン)」に募参をはたす事が出来たのである。



七月二十三日 月曜日 晴

午前十一時三十分、道庁別館地下大会議室にて募参団全員出席のもとに社行式が行なはれる。道民生部、長谷部部長の送別の挨拶、つづいて樺太連盟副会長浅井氏の挨拶。今回お世話をして下さる道民生部保護課長佐渡秀明氏の、団長としての出発の挨拶があって社行式が終了する。

引つづき玄関前に待機しているバスに見送りの人々と声を交しながら乗る。バスは千才空港に向う。樺太は千才からすぐ豊原へと飛ばせば日数も費用もグンと違うのだが、コースは千才→新潟→ハバロフスク→豊原で帰国も全くこの逆である。新潟で一泊、ハバロフスクで一泊となる為、往復四日の廻り道である。昭和五十年からこのコースとなったそうで、戦前は稚内→大泊と船で、昔の稚泊航路で行った。現在大泊は軍港となっている為やむを得ない廻り道である。

機内放送の「新潟晴、気温三十度」に一同ウンザリのため息をつく。新潟はずっと昔一度行った事があり、佐藤さんと言うお宅の錦鯉を思い出す。

夕食前、外務省欧亜局ソビエト連邦課、課長補佐の森泉達士氏が到着、対ソ連についての注意事項などを聞く。道の保護課で親切に連絡事項をコピーして綴ってくれた中で「樺太」と書かれた書類は、はづした方がよいとの事で、日程表だけぬき取って持参する。

夕食時、保護課の世話係長の中西氏が尺八を一曲、ソラン節の歌詞をコピーして来たので一同練習。最後の日のお別れパーティーの時に皆でうたうとのことである。

七月二十四日 火曜日 晴後小雨

朝食から出発までの時間が長い。日本航空の新潟→ハバロフスク線は一日一本で待ち時間に文句を言う筋ではない。

新潟空港国際線のハバロフスク行きは大変な混雑で吾々の外にも日本人の団体があつた。百十八人乗りの飛行機は今日も満席とのこと、ソ連も外貨獲得の為日本人観光客には笑顔を向けているのだから、シベリア始めソ連本国の観光は認められており、どこに行ってもカメラを持った日本人が溢れていた。皆海外旅行を楽しむ程の余裕があるのだろうか。カメラを持って旗を持ったツーリストがいれば、「日本のノーキョウ」と異名を取ったお国柄である。幸せな国民と感謝しなければならぬのかも知れない。

国外持出しの書類を提出し税関の審査を無事通過、日本航空のシベリヤ行きに乗り込む。定期よりやや早目に出発した。二十分して日本海の真上となる。機長より「奥尻島の西、一八〇キロの地点を通過」との放送がある。時計を見ると十一時四十五分である。十二時にパン主体の機内食が出る。米との別れの覚悟は出ていたので口に合うものだけを食べた。

十二時二十三分、ソ連領空に入ったとの放送あり、高度一万二千フィート、もっと高い時もあるとスチュワーデスは話していた。ハバロフスクの気温二十度、曇時々小雨との機内放送を聞く。



十三時五分、無事ソ連邦ハバロフスク空港に着陸する。所要時間二時間十分であった。タラップを降りると若いスラリとした通訳トリーヤさんが立っている。団長と外務省の森泉氏がトリーヤさんと挨拶を交している間に、写真はダメと心得てあちこち見廻す。空港は羽田程の広さには及ばないがまあ、の広さ、アエロフロート機が十数機並んでいる。整備工場が二、三棟しか見えない。ここからシベリヤ各地は勿論、モスクワ、レニングラード等に出発するのだから。勿論、吾々の行く樺太も同じである。

ハバロフスクの空港入国検査は二人でパスポートのチェックをしている。その時間のかかること、飛行機を降りた人達がビザの関門をぬけてから、今度は荷物の税関検査である。検査は厳重でレントゲン透視をするから、フィルム等は取り出すよう指示されていたが全然見られずに全く拍子ぬけの感じ、貴金属と書籍を持っているかと質問されただけ、しかし面倒なことが起きないことは幸である。私はこんなに簡単にスイスイと税関を通過するならば、墓前で唱える御詠歌の道具（鈴鉦）を持参すればよかったと思った。レントゲン透視で何やら異形なものが写り、出して見て説明し

ても理解してもらえなければ、皆さんに迷惑がかかると思って本だけ持参したのだが、残念なことをしたと思った。道が持参した荷物は慰霊祭に使用する祭壇、花輪、献花、供物等の外に、関係筋えの土産等もあり、又各自の荷物もありで、数が多かったせいか梱包をほどこいて検査したとの事、私達墓参団の為に大変な御苦労をかけたと思う。

空港建物の正面玄関は、ギリシャ風の円柱が十本等間隔に並び、年代は相当の古さを感じさせた。内部の天井が高く格天井である。その樫の一つ一つに蓮華文に似た花を浮彫のように立体的に飾る。しつこいの白さが実に美しく天井迄の高さは日本家屋の二階建ぐら

いあるのではないかと思う。バスに乗る迄の時間待ちにテーブルの上に並ぶ本を見る。「今日のソ連邦」これは日本語で書かれ発行所は日本にあるソ連大使館で、国会議員の対島孝臣氏、稚内市長の浜森氏の挨拶が載っている。又「極東の諸問題」「レーニン」等日本語の本、朝鮮のハンゲル文字の本、中国語の本、横文字の本に雑誌、新聞等をおれこれめくって眺めているだけでも待ち時間のヒマ潰しにはなった。

空港待合室のベンチで隣りに腰かけていた奥さんらしい人に声をかける。年令は私より上と思うが、紫色のワンピースを着て足をくんで煙草をくゆらせていた。新潟の人で吾々と同じ飛行機で来た由、どこへ行くのかと聞いたら、これからモスクワ、レニングラードに行くとの事で飛行機がシベリヤ鉄道かは聞きもらしたが、吾々のことを知っていて「御苦労様です」とい

ねいに頭を下げてバスに乗っていた。この日は空港からまっすぐホテル「インツーリスト」に入る。ソ連人の泊るホテルは別にあり、このインツーリストは外人専用である、外人の大多数は日本人である。

私の部屋は八階八〇六号室、各階ロビーがあり、階の係りがキーを保管している、言葉がわからないので

キーを返す時にティッシュペーパーの上にキーを載せて返したら、大喜こびで二度目からは顔を覚えてくれて、だまっていたもキーを出してくれた。ソ連に行くとき紙と女性用のナイロン靴下を持てばいいと言はれていたが、ソ連では紙は貴重品である。紙質が硬くすぐ水には溶けないので、トイレでは詰まるから紙は捨てるなど言はれた。使用した紙は備えつけの蓋付きのポリバケツに入れる。ホテルは蓋付きだが蓋のないところもあった、蠅や蚊の多いのもむべなるかなである。

夕食からいよ／＼ソ連料理。しかし心配した程悪くはなく、吾々の舌になじむ味であった。黒パンは昔のすっぱい真黒と違い、色も半分位白くなり意外と美味であった。ほかに日本の白さには到底及ばないが白いパンも出たが黒パンの方が美味である。陶器の壺の中にホワイトソースのような汁があり、日本の「すいとんだんご」に似たものが十ヶ位入っている。壺の蓋はパンの生地をそのまま焼いたのだろう、それがとどころ黒く焼けていた、これは香ばしくて美味だった。もう一品は何かの貝にクリームをかけたもので、私は半分程残した。野いちごのジュース、水、トマト、瓜のように太くて大きい胡瓜がデザートで、スープや肉は出なかった。

ハバロフスクは小雨で昏いのでアムール河周辺の散策も出来ずに残念。時差は日本より二時間進ませるのでシャワーも使えず、テレビがあっても映らず、活字を読む程の明るさもなく寝るより途がなかった。

ベットはまあ／＼だが枕に驚いた。日本の座ぶとんの大きさ、どんな風にして使うのだろうか。不思議なのは洗面器の栓である。樺太のホテルも同じで蓋が全然ない。とれたのではなく始めからつけないのだろう。くさりを止めた跡もない。昨年参加した人達はゴルフボールに布を巻いたものを持参した由、昨年は注意事項の中にこのボールの件はあったそうだが、今年は何も注意はしなかったのだろう。私は道職員の石川係長のを取りあげた形で申しわけなかったが、最後まで借



りて了った。しかしソ連人はすべて手で掬って顔を洗うのだろうか。

七月二十五日 水曜日 曇

朝食は硬いポソポソのチーズ三枚、昨夕よりは薄いジュース、パン、ジャム、小さなコーヒーカップが並んでいる。ごはんが出たがお粥の出来損いのようなグチャグチャ。甘味がありバターがラードか何か油も入っている。それに澱粉か卵の白味か何だか白いぬるしたものがからまっています、喰い意地の強い私の喉にも通らなかつた。

出発時ホテル前で全員で写真を撮る。バスの運転手をはじめ、ホテルに出入する外国人が皆立止って眺めていた。

ホテルを午前十時出発(ソ連時間)、昨日の空港から目的地の豊原(ソ連名ユージノサハリンスク)に向う。豊原空港で吾々は最後に降りるよう指示される。アエロポート機八十数人乗りである。数えていたら隣席の人に首を振られたので中途で止めてしまった。タラップの下にサハリン州インツリースト支店長のニコライ・ワシリーエビイチ(六十才位)、サハリン州執行委員会知事補佐アルセーフビイチ(三十才位で愛称リーチャ。この人は日本語がわかるし話せる)ともう一人北鮮系の鄭清井氏(五十二・三才位)の三人が吾々の降りるのを待っていた。鄭氏は本当は南鮮系であるが、現在北鮮系と登録してないと生活がスムーズに行かないとの事。樺太生れで戦前三浦と言っていた由、大半の朝鮮人は皆北鮮出身と称しているとの事である。佐渡団長、外務省森泉氏と笑顔で握手をしている。ハバロフスク→豊原間一時間二十分位。空港からのバスは賓客扱である。先導車がつき他の車は全部ストップ、二十分位で「ホテルサハリン」に着く。ピンクの夾竹桃が鉢の中で咲いていた。

十八時(樺太はハバロフスクより更に一時間進ませる。日本時間午後五時)、全員ユージノサハリンスク市の市長を表敬訪問する。市役所の二階で先づ市長からの挨拶

「州の首都である。重工業の大きな企業はないが農業のセンターがあり、農産物の加工が盛んである。州の三分の一の農産物はここで加工する。郊外にサナトリウムがあり観光する事が出来る。人口十六万州で唯一の教育大学がある。技術の専門学校もあり夏休みになると沢山のキャンプ場があるので賑やかになる。二十四日間、一人の子供に一八〇ルーブルを使い、両親は十二ルーブル位しか負担しない。沢山のアパートが建ちつつあり、現在活動の目的はアパートを作ることである。この町の歴史は百年しかない。今後百年したらもっとよくなると思う。第三十六回共産党大会の決定を実施されるよう努力している。市にいくつかの行政区画があり、昨年から二

つの地区が増えた」以上が挨拶要旨。
横路知事の挨拶(団長代読)

「市長の健康、市の繁栄を祈念する。昨年は思はぬ事故の為に基参が出来なかったが、今回は遺族の熱望をかなえて下さって、誠にありがたい。厚く御礼申しあげる。又サハリンスク市と日本の旭川市とは姉妹都市であり、大変よろこばしい事である。今後とも友好につとめたい」以上要旨。

日本側外務省森泉氏、ソ連側鄭通訳。りんごとレモンに似た果実の砂糖漬と炭酸水が出る。豊原で作られているとの事であったが、今挨拶の中にあつた農業センターで加工したものなのだろう。帰りにバッチをもらい皆名札の上につける。友好のしるしなのかも知れない。或はサハリン入国認可の標示なのかも知れない。表敬訪問の帰り戦勝記念碑を行ったが、雨で満足に見あげる事も出来ない。小降の時に大いそぎで写真をとっただけ。ソ連は戦勝記念碑でもこちらは敗戦記念碑である。何となく複雑な気持ちになる。「こんちきしよ」と胸の奥がモヤモヤしていた。

豊原駅は一九六四年に建て替えた由、時計はサハリン時間の十九時を指していた。駅の時計は本来モスクワ時間を示す事になっているのだが、此処だけは違つて聞かされる。

通訳の鄭さんは建築設計事務所勤務しており、日本の課長位らしい。主として造船所の建物の設計である。今回のまれて五日間吾々と同行するとの事である。

現在大学の外国語専攻は日本語が一番多く、次がフランス語である由、かつてフルチョフが来たこともあると言っていた。

夕食時、試飲のつもりでウォッカを口にすして強いのに驚く。水を大量に入れたつもりだったが、唇がヒリヒリとする。団長がワインを追加してくれたので楽しく食事をすまず事が出来た。食事は日本人向きに研究されたとの事で非常に美味だった。惜しいと思うのは切角の鮭でもにしんでも皆強い塩蔵で、それらを薄

切りにしてクリームをかけたたり、身をほぐしてコロツケ風にまとめたりしている。

魚と肉とどちらを好むのかとの質問に、我々は全員「魚」と返事をした。滞在中いかのゆでたものに白いソースがかかったものが三回位出る。又米はピラフ風にしたものが二回、肉は三回位であとは全部魚ばかりであった。(すべて塩蔵) 氣を使っている事はたしかだ。米はすべて中国からの輸入との事である。毎回黒白(ハバロフスクと全く同じ)のパンは出たが、黒パンが以外と美味だったのであまり日本食の郷愁はなかった。

このホテルは州一番である由、スチーム、冷蔵庫、テレビと一応体裁は整っているが、ハバロフスクと同じでお湯が出ない。トイレも同じで紙質が悪いから水洗式も半分の機能でしかない。中国でもトイレで苦勞したが、大國と言はれるソ連でもこの有様である。一握りの高官以外の人々は皆苦勞しているのであろう。

七月二十六日 木曜日 曇後晴

今回の墓参のスケジュールは始めに真岡、本斗、内幌と西海岸が先となり、豊原が最後と決まる。豊原では墓参のほか一日の観光がある。観光とは聞えはいいが、昔の日本のものに手を加えたものを見せると言うことである。喜ぶべきか悲しむべきか。

十時半、バスで真岡(ネベリスク)え向けて出発する。ソ連交通警察パトロールカー(ジープ、時々乗用車に変る)が先導する。先導車の屋根のランプは大小三つで色違い、ウシヨウ・ウシヨウと言うような音を立てて走る。乗務員の服装は上衣ねずみ色で帽子に赤線が入り軍帽に似ている。

かつての墓参は列車であった由、ハバロフスクからのトリーヤさんも乗ったのでソ連側は四名となる。

かつての大泊え行く道を進む。昔の飛行場が見えると鄭さんの説明に昔住んでいた人達は「変った、変った」を連発していた。真岡に通ずる鉄道線路に貨物列

車が通る。皆大ききでシャッターを切る。豊真線は昔のまゝで使用されているらしい。鄭さんが「左側、昔の並川の農場」と説明する。

現在のソ連では同じ場所に連作はしない。毎年作るものを替えているとの事、殆んどの家で家畜を飼い、エンバク、ビート、じゃがいも等を作る。エンバクは青刈りして飼料とする。原野のような広い地域に牧草が生え、その間にポツポツとじゃがいもの白い花が咲いている。六百ヘクタールの土地を國家から貸してもらい、好みのものを耕作することが出来る。

ルータカ川(留多加川)を渡る。二十四日にハバロフスクで小雨の降った時、こちらは相当降ったそうに舗装していない道路に、大きな水たまりがあちこちに出来ている。山間に黄色やピンク、水色のトンガリ屋根の小ぢんまりとした建物が建っていてあたりに映えて美しい、別荘との事であった。本国の人達でなく豊原近郊の人達のものらしいから、人によっては別荘を持つ程の収入があるのだろう。

面白いと思つたのはバス停である。家屋に類するものではなく単なる風除けに過ぎないのだが、板に画いた絵が誠にユニークである。昔の日本海軍の旭日旗のように中心が半円で赤、光の部分が水色とピンクの斜線である。どの停留所も同じ絵のパターンなので、何らかの意味があるのかも知れない。質問すればよかつたと思う。

(以下次号)



北海道電力(株)函館支店管内組合関連組織図 (59.10.31)

(函館支店)

支店長 益山久男



次長(事務) 橋本敏寿

次長(技術) 進藤憲男

事務課長 原利憲

立地環境課長 板谷卓郎

労務課長 中島恒吉

經理課長 秋森克己

建築工務所長 小島梁三

函館電力所長 神原茂

岩井等

料金課長 三羽伸佳

片山敏勝

松葉洋吉

配電課長 山本訓弘

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 中川一夫

副長 中川一夫

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

副長 大場稔

副長 鈴木勉

副長 猪口初雄

副長 田川征市

副長 佐竹邦久

副長 木原寛治

副長 森清司

副長 前田楨俊

副長 南茅部

副長 寺山秀雄

(衛星営業所)

八雲営業所長 石橋晃

副所長 金田光照

北檜山営業所長 二丹田彰博

副所長 佐藤純一

森 営業所長 笹波恵三

副所長 新谷宏

福島営業所長 工藤藤四郎

清水淑隆

江差営業所長 吉田実

お客さまセンター課長 菊地幹郎

配電課長 仲村栄蔵

お客さまセンター課長 舟津峯晴

池田龍夫

木下源信

宮越英二郎

松前営業所長

藤浪俊男

木古内営業所長

奥尻営業所長 大西博

大西博

佐々木利男

本多一治

渡辺松義

五十嵐信夫

小島嘉造

小川弥寿郎

吉野一夫

加持政五郎

有田仁三郎

浜田正一

諏訪雄一

田島光雄

職員

●註一 森営業所管内はなし。

(電業所)

●函館営業所管内

七 飯電業所

職員 佐々木利男

●八雲営業所管内

鹿部

職員 本多一治

●北檜山営業所管内

長万部

職員 渡辺松義

●北茅部営業所管内

瀬棚

職員 五十嵐信夫

●福島営業所管内

今金

職員 小島嘉造

●江差営業所管内

知内

職員 小川弥寿郎

●森営業所管内

上ノ国

職員 加持政五郎

●北茅部営業所管内

厚沢部

職員 浜田正一

●北茅部営業所管内

乙部

職員 有田仁三郎

●北茅部営業所管内

熊石

職員 諏訪雄一

●北茅部営業所管内

大成

職員 田島光雄

<p>あかるい明日を技術でひらく</p> <p>東芝電材株式会社</p> <p>函館営業所</p> <p>040 函館市大縄町二十二番十四号 電話 函館 四一―二四一</p>	<p>吟味する</p> <p>松下電工株式会社</p> <p>函館出張所</p> <p>函館市昭和一丁目三〇の一 電話 函館 四二―五八二</p>	<p>工事材料・電化製品</p> <p>丸晃電気株式会社</p> <p>函館市西桔梗町五八九―四九 電話 四九―一三一三</p>	<p>電気設備機器資材の総合卸商社</p> <p>大興電機株式会社</p> <p>本社 函館市西桔梗町五八九―一〇七 電話 (代)四九―六二二番 営業所 山越郡八雲町内浦町一〇七 電話 (〇三七六) 三―三三六九番</p>
<p></p> <p>三菱電材特約店 あらゆる電設資材卸</p> <p>隆東電機株式会社</p> <p>函館市西桔梗町五八九―一〇八 電話 四九―六二二六</p>	<p>電設資材・機電総合卸</p> <p>進和電機株式会社</p> <p>040 函館市松川町三四―一三 電話 四二―一六二三一</p>	<p>明日をひらく電設資材の総合卸商社</p> <p>株式会社 工三ヤ商会</p> <p>函館営業所</p> <p>函館市富岡町一丁目四一―一七 電話 四二―三〇一一(代表) 本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧</p>	<p>電気工事材料 音響通信機器 総合商社</p> <p>石垣電材株式会社</p> <p>函館営業所</p> <p>本社 函館市中央区北六条西一丁目一―番地 支店 函館市新中野町一丁目三番二―番地 支店 函館市島町六番一―番地 函館営業所 040 函館市(〇一三八) 五五―四二二番(代)</p>

11月1日～11月30日は雇用保険の不正受給防止月間です

失業給付は明るく正しく受給しましょう

次のような場合は必ず申告しなければなりません

- ▶ 就職したとき（就職した年月日は正確に）
- ▶ 就労〔臨時、パート、アルバイト〕手伝いをしたとき（収入がなくても）
- ▶ 自分で仕事を始めたとき
- ▶ 内職収入のあったとき
- ▶ 会社・公共団体等の役員又は議員になったとき

申告についてご不審なことがありましたら、必ず安定所の窓口でお尋ね下さい。

正しく申告しなかったり、偽りの申告をすると、不正受給として、次のような処分を受けます

- ▶ 不正に受けた保険金は直ちに返還してもらいます。
- ▶ 上記返還額にあわせて、同額までの納付金を納めていただきます。
- ▶ 悪質なときは詐欺罪として警察に告発することもあります。
- ▶ 残りの保険金は受けられません。

不正は必ず発見されます

- ▶ コンピューターで
- ▶ 安定所などの調査で
- ▶ 電話や投書で

北海道労働部雇用保険課
函館公共職業安定所

